

被災地の今

3.11を忘れない

◀京都生協からお菓子と共に被災地生協(みやぎ生協・いわて生協・コープふくしま)へ届けるメッセージ色紙。(エリア会で作成いただいています)



被災地へと届け

くずつと応援

被災地の3生協では仮設住宅にお住まいの皆さんの交流・憩いの場としてサロン活動を継続して開催しています。

京都生協はサロン活動を応援するため、定期的に京都のお菓子とともにメッセージ色紙を届けています。

いわて生協から届いた

お手紙より(抜粋)

「京都生協の皆さま、被災地での『ふれあいサロン』へのご支援に、心から感謝を申し上げます。被災地では復興住宅の建設や土地のかさ上げ工事が行なわれ、徐々に仮設節住宅から復興住宅等に移り始めていますが、まだまだ先の見通しが立たず不安を感じておられる方もたくさんいらっしゃいます。また、長引く仮設住宅での不便な暮らしで、体調を崩している方も増えています。全国からの支援も激減しています。いわて生協では、引き続き、仮設住宅での『ふれあいサロン』や地域のご要望に沿った支援活動を続けていく計画です。今後ともどうぞご支援をお願いいたします。」



いわて生協から届いた、感謝の色紙とサロン活動で制作された今年の干支「未(ひつじ)」の人形

京都生協の移動店舗

「おかいもの便」がスタートしました!



歩いて行ける場所にお店がないなど、日常の買い物が困難な状況におかれている「買い物弱者」は全国で700万人と推計され、今後も増えていくと言われています。京都生協は8月より京都市西京区の洛西地域にて「おかいもの便」の運行を始めました。

コープらくさい店より冷蔵ショーケースを備えた2トントラックに生鮮品や総菜などを積み込んで地域を巡回しています。(現在、竹の里・境谷を週2回、定曜日 定時間にて巡回)

この事業は経済産業省の「買物環境整備促進事業」に採択されました

これまで掲載していました「理事会短信・監事会短信」は総代つうしんとホームページにて、お知らせさせていただきます